

沖縄県のオニヒトデ対策について

令和5年3月16日

沖縄県自然保護課

○これまでの沖縄県のオニヒトデ対策

(1) 平成24年度～平成29年度

- ・オニヒトデの大量発生の子察
- ・大量発生メカニズム解明に関する調査研究
- ・効果的・効率的な防除対策の検討

(2) 平成30年度～令和3年度

- ・地域団体等と連携した大量発生防止対策（稚ヒトデモニタリングの普及）
- ・稚ヒトデモニタリングとオニヒトデ発生状況の検証の実施
- ・オニヒトデ対策に効果的な調査研究
（流域水質調査、オニヒトデの餌となる物質の調査、発生予測モニタリング、オニヒトデトラップ等開発）

○これまでの成果と課題

【成果】

- ・稚ヒトデモニタリング等により、ある程度の規模の大量発生を予察できる技術を開発（2～3年後の大量発生の子察）
- ・地域でも実行可能な予察手法の普及
（ダイビング事業者等を対象とした稚ヒトデモニタリングのトレーニング）
- ・人為的な栄養塩負荷が、オニヒトデの大量発生につながる可能性がある。

【課題】

県内の稚ヒトデ等の情報を集約し、オニヒトデの大量発生の子候を予測、評価し、周知していく体制の構築

○現在実施しているオニヒトデ対策（令和4年度～令和8年度）

- ・各地域での稚ヒトデモニタリングの推進のため、稚ヒトデモニタリングトレーニングの実施
- ・大量発生の子察や予察精度の向上のため、稚ヒトデモニタリングやオニヒトデ発生状況の調査・検証
- ・一元的に情報を収集するためのシステム等の構築
- ・オニヒトデの大量発生を分析、評価するためのスキームの構築